

白石に住む人・訪れる人にとって「心安らげるまち」になるように・・・

花と緑のまちづくり

今年の3月31日、市内の花と緑の最新情報を市民の皆さんから投稿いただいてレポートする『花の特派員レポート』が始まり、スタートから半年が過ぎました。今月は、その中から抜粋して4月～9月の間の投稿写真に、事務局で撮影した写真を織り交ぜながら紹介します。



- 1_ライラック 2_アズマイチゲ 3_サクラソウ 4_ミズバショウ 5_ニッコウキスゲ 6_沢端川とサクラ 7_クチベニシヤクヤク 8_ミヤマオダマキ 9_ホタルブクロ 10_ハクサンイチゲ 11_カワラナデシコ 12_あじさいロードのアジサイ 13_ベルガモットやニコチアナ 14_ツリフネソウ 15_クジャクアスター 16_フシグロセンノウ 17_レンゲショウマ 18_カンパニュラ・ソリドラアイダー

投稿者：よっちゃんママさん(1・7) Takasakiさん(2・5・11・12・14・16) しろいしサクラソウ愛好会さん(3) Kさん(4・8) ナリタブライアンさん(9) 鈴木さん(13・15) 斎藤さん(18) 事務局(6・10・17)

みんなで作る「花と緑のまちづくり」

花の特派員を募集しています！

これから立冬を向かえ、季節は冬へと移り変わっていきますが、冬の花や室内で栽培している草花など、写真を撮ってお気軽に投稿ください。企画情報課ホームページでは、今回紹介した以外にもたくさんの投稿

写真を掲載しています。ぜひご覧ください。

☎企画情報課企画係 ☎22-1324 ☎22-1451

kikaku@city.shiroishi.miyagi.jp

http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/kikaku/flower



「自治宝くじ」で地域づくりを推進

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とした一般財団法人自治総合センターの「平成26年度自治宝くじコミュニティ助成事業」に本市の「本郷第2自治会」「大平第8自治会」「鷹巣自主防災会」の計3団体が採択されました。

3団体の代表の方に、これからの暮らしを支える地域づくりについてお話を伺いました。

☎企画情報課 ☎22-1324

■本郷第2自治会

本郷第2自治会では、春まつり、市民体育祭、新年会、長寿会研修旅行など「地域のコミュニケーション・シヨングリ」に取り組んでいます。備品が少なく苦慮していましたが、「自治宝くじ助成事業」の採択を受けて多くの備品を整備できました。

当自治会は東北本線白石駅に隣接しています。平成28年度完成予定の「都市計画道路路白石沖西堀線街路事業」に伴い、駅前の玄関口としてまちづくりに貢献し、魅力ある地域づくりに努めようとしています。そのために、今回宝くじの助成金で整備した備品を大いに活用し、地域住民の絆を深めたいと考えています。



本郷第2自治会長
齋藤 好吉 さん

●助成額 250万円
●助成内容 液晶テレビ、カラオケセット、テント、テーブル、イス、自治会旗、のぼり、自家発電機、イベントジャンパー、ストロープ、扇風機など

■大平第8自治会

大平第8自治会は、白石市内で唯一、集会所が整備されておらず不便な状況にありました。

近年、集会所新築の提案が自治会内で起こり、資金の積み立てと助成を経て平成25年度に集会所を新築する運びとなりました。しかし、備品整備の予算までは準備することができず、今回宝くじの助成金を使って各種備品を整備しました。

地区の子どもたちの行事や、皆さんのお茶のみ場として気軽な交流を行える場所としてスタートし、今後はセミナーをはじめとした文化的な活動などができる場をめざして、整備した備品と集会所を積極的に活用していきたいです。



大平第8自治会長
村上 洋二 さん

●助成額 120万円

●助成内容 会議用テーブル、ホワイトボード、折りたたみチェア、シューズボックス、カーテン、冷蔵庫、エアコンなど

■鷹巣自主防災会

近年、鷹巣自治会では世帯数と人口が増加しています。地域を挙げて今後の防災活動を推進していく上で、今回の事業決定は地域住民の願いでした。

今回宝くじが財源の助成事業で整備していただいた防災関係の備品は、今後の地域防災活動の大きな励みになります。以前にも増して災害発生時はもちろん、白石市の総合防災訓練などで有効的に活用していきます。また、大震災への対応だけではなく、近年心配されている異常気象による大雨や土砂崩れなど大規模な自然災害に対して、今回の採択を契機に、鷹巣自主防災会としてしっかりと取り組んで行きたいと思っています。



鷹巣自主防災会長
佐藤 昭 さん

●助成額 200万円
●助成内容 デジタル簡易無線機、発電機、防災倉庫、テント、折り畳みリヤカー、ヘルメット、石油ストロープ、担架、投光機など

「自治宝くじ」コミュニティ助成事業の活用相談受付中！

■一般コミュニティ助成事業
自治会で恒常的に使用する備品(テント・イスなど)が対象
・助成額 100万円～250万円

■コミュニティセンター助成事業
自治会などの集会所の新築が対象
・助成額 上限1,500万円
※対象事業費の5分の3以内

■青少年健全育成助成事業
小中学生の健全育成のための事業で、主に親子で参加するソフト事業が対象
・助成額 30万円～100万円
※一部対象外競技あり

■地域防災組織育成助成事業(区分A)
地域の防災活動に直接必要な設備などの整備が対象

・助成額 30万円～200万円



▲助成で整備した防災備品(鷹巣自主防災会)